

新名神高速道路の早期供用と
供用に併せたアクセス道路等の
財源確保に関する要望

平成26年12月25日

大阪府

大阪新名神高速道路建設促進協議会

【枚方市・高槻市・茨木市・豊能町・箕面市・池田市】

新名神高速道路は、新たな国土軸として我が国の成長、国際競争力の強化に資する高規格幹線道路であり、大阪都市圏が東西二極の一極を担うための広域交通インフラとして、早期完成を目指して重点的に整備を行うことが極めて重要であります。

加えて、高速道路整備に併せたインターチェンジアクセス道路などの周辺道路の整備は、地域における円滑な自動車交通の確保・物流の効率化、災害に強い道路ネットワークの構築といった道路そのものの整備効果のみならず、高速道路のインパクトを最大限に活かした地域づくりや都市づくり等の地域活性化にもつながります。

平成28年度供用予定の『新名神高速道路（高槻～神戸間）』のインターチェンジ周辺では、「物流拠点」や「研究開発拠点」の整備、「沿道まちづくり」の検討など、官民連携による地域開発プロジェクトが具体化し、その整備効果が既に発現しています。

こうした新名神高速道路及び同アクセス道路の整備効果を早期に発現し、大阪・関西の成長をより確かなものとするために、次の事項について格段の配慮がなされるよう強く要望いたします。

一、 新名神高速道路については目標とする供用に向け
着実な整備促進を図ること。

- ・ 「高槻～神戸」間：平成28年度供用
- ・ 「八幡～高槻」間：平成35年度供用

一、 高速道路と一体となったネットワークを活かし、
企業立地や産業集積などの地域活性化につながる、
補助国道や地方道の確実な整備促進のため、事業の
進捗に応じた必要な財源措置を講じること。

一、 とりわけ、平成28年度の新名神高速道路「高槻
～神戸」間の供用に併せ整備を進めている、府内3
箇所のインターチェンジアクセス道路を確実に供用
するため、必要な財源を確保すること。

大阪府知事

松 井 一 郎

大阪新名神高速道路建設促進協議会

会 長 高槻市長

濱 田 剛 史

副会長 茨木市長

木 本 保 平

豊能町長

田 中 龍 一

箕面市長

倉 田 哲 郎

池田市長

小 南 修 身

枚方市長

竹 内 脩